

令和4年8月19日

道路局道路交通管理課

MMSによる三次元点群データ等の提供事業を開始

- 国土交通省では、道路管理の効率化を図るため、平成30年度よりモバイルマッピングシステム（以下「MMS」という。）による三次元点群データ等の収集・活用に取り組んでおります。
- 今般、公募により選定した（一財）日本デジタル道路地図協会を提供事業者としてMMSによる三次元点群データ等の提供事業を開始することとしましたのでお知らせします。

1. 三次元点群データ等提供事業の概要

道路交通上の諸課題の解決に向け、国土交通省が収集した三次元点群データ等を広く公開し、民間企業等による多様なアプリケーション開発の促進を図ることとしています。

2. データ提供の開始について

データ提供を以下のとおり開始しますので、提供を希望される場合は、下記の提供事業者までお問合せください。

提供開始日：令和4年8月22日（月）～

提供事業者：（一財）日本デジタル道路地図協会 市川、黒須

TEL：03-3222-7990 FAX：03-3222-7991

H P：https://www.drm.jp/pointcloud/

なお、配信単価は、下記のとおりです。

配信単価：5,100円/km（計測延長）

3. 提供するデータについて

国土交通省では、直轄国道全線の三次元点群データを順次取得しています。今回提供を開始するのは、令和2年度までに処理等が完了した約9,000kmのデータとなります。提供データは今後も順次拡大していく予定です。

4. 参考資料

別添1：MMS（モバイルマッピングシステム）

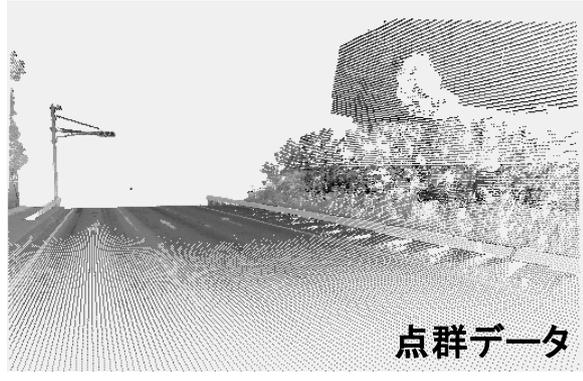
問合せ先：国土交通省 道路局 道路交通管理課 中西・小嶋

TEL:03-5253-8111(内線 37432、37465) (課直通)TEL:03-5253-8484 FAX:03-5253-1617

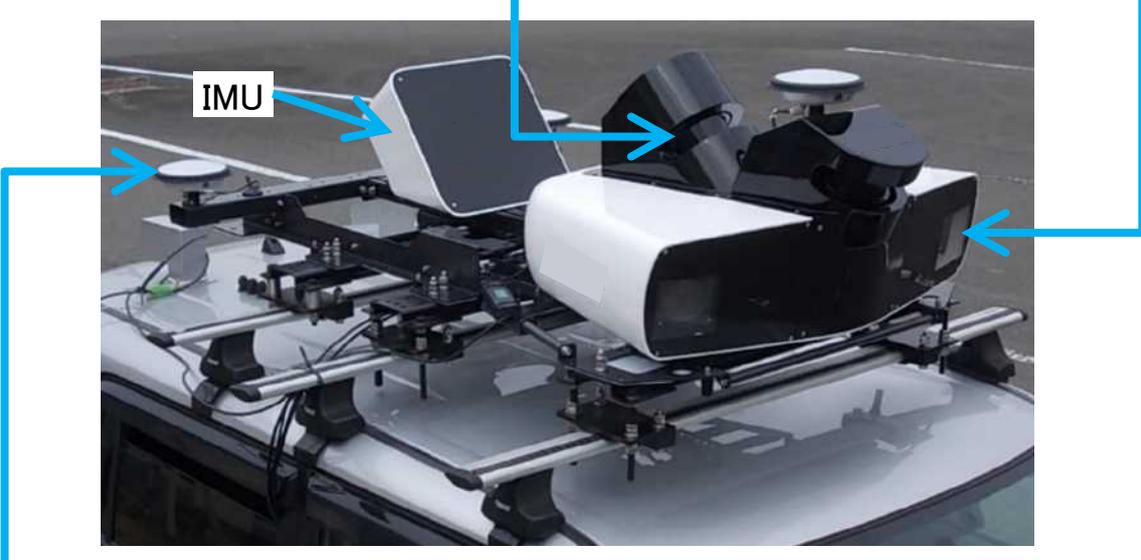
MMS(モービルマッピングシステム)

GNSS、レーザースキャナ、カメラなどの機器を搭載し、走行しながら3次元の道路の形状・データを高精度で効率的に取得

レーザー
物体に照射したレーザ光の反射波により点群データの取得が可能



カメラ
取得した画像により地物等を判別し、点群データに地物情報の付加が可能



GNSS(Global Navigation Satellite System(s))
(汎地球測位航法衛星システム)
衛星を用いた測位システムの総称で、継続的な位置取得により経路把握が可能

